

基礎学力をつけるための指導の工夫

～「書くこと」を通して意欲的に英語学習に取り組む生徒の育成を目指して～

I 主題設定の理由

東山梨支部外国語教育部会ではここ数年間、「基礎学力をつけるための指導の工夫」を研究の主題として設定してきた。毎月の研究会で学んだことを次の日の授業で生かせるような実践的な研究を目指し、具体的実践報告およびその検討を主とした研究を行ってきた。

今回行われる学習指導要領改訂には研究主題を考える際に考慮すべきいくつかのポイントがある。その中で、中学校における「聞くこと」「話すこと」という音声面の指導については、小学校段階での「外国語活動」における英語学習を通して一定の素地が育成されることを踏まえ指導内容の改善を図ることや、「読むこと」「書くこと」の指導充実に関してもバランスよく指導し、生涯にわたる外国語学習の基礎を培うことが求められる点に着目し、さらに、自分の考えなどを相手に伝えるための「発信力」やコミュニケーションの中で基本的な語彙や文構造を「活用する力」を育成することが指導重点として明示されていることにも着目した。

その着眼点をもとに、これまでの音声面での指導充実を目指した流れからシフトしつつある中学校英語教育の動向と文字を媒介としたコミュニケーション能力育成の重要性を再認識した上で、文字言語によるコミュニケーション能力の基礎となる「書くこと」の効果的な指導を探るべく今年度の研究主題を設定した。

II 「書くこと」の基礎力とその指導に対する考え方

(1) 『新学習指導要領』における「書くこと」の目標と内容

(2) 中教審答申（重点指導事項例）

与えられたテーマについて、短時間に5文程度のまとまりのある英文を書くことができる。

(3) 「書くことの指導における基礎力とは何か」（山梨県立大学 杉田由仁准教授）

① 4技能の関連から見た「書くこと」

② 教室における「書くこと」の指導 (Rivers, 1981)

易 ・書き記すこと、表記(notation)

↓ ・その言語で書くこと(writing in the language)

↓ ・表出(production)

難 ・表現的な書き方、作文(composition)

③ 『新学習指導要領』における「書くこと」の基礎力レベルと指導内容

レベル1：文字や符号などの書くためのルールに従って書くことができる

→注意を払いながら正しく書く姿勢の指導

レベル2：語と語のつながりを意識し正しく英文を書くことができる

→英語の正しい語順や語法を用いて一文を正しく書けるようにする指導

レベル3：聞いたり読んだりしたことについてメモをとることができる

→Writing for information の指導

レベル4：読み手を意識し、自分の体験や気持ち考えを書くことができる

→Writing for presentation の指導

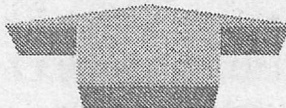
(4) 「書くこと」の指導ステップ

東山梨支部では、『新学習指導要領』に示された「書くこと」の指導事項のレベル化を参考にして、「書くこと」の指導ステップ(下図)を考案した。

「書くこと」の指導ステップ

ステップ4 : Writing for presentation

ステップ3 : Writing for information



ステップ2 : 日本語とは違った英語の語順を意識し、正しく英文を書くことができる

(文構造や語順に意識を向けた活動/チャンク単位から文単位への発展 など)

ステップ1 : 英語の表記法に従って正しく英文を書き写したり、表記することができる

(教科書本文を書き写す/Reproduction/Dictation など)

III 研究の具体的すすめ方

- (1) 定義づけ : 研究主題に含まれる言葉の定義付けを明確にする
- (2) 共通理解 : 明確になった定義を共有し、研究の方向性を統一する
- (3) 実践研究

①日々の実践を報告しあい、その効果や課題について検討することで研究を深める。また、そこで検討された実践をまとめ、本支部研究の継続研究のための資料とする。

②授業研究

研究主題を意識した研究授業を行い、その効果や課題について検討する。

9月1日 授業者 奥田真由美教諭 (塩山中学校)

2月9日 授業者 野澤みずき教諭 (山梨北中学校)

(4) 検証

各実践についての指導者から見た成果と課題、学習者視点から見た成果と課題について検証し、新たな実践へとつなげる。

IV 研究の成果と今後の課題

(1) 成果

「書くこと」を理論的な背景を元に分類しレベル分けすることができ、研究対象を明確にした研究を行うことができた。とくに、「書くこと」に関する基礎的なステージであるレベル1、レベル2に特化した研究を行い、具体的実践について情報交換することができた。

(2) 課題

今年度の研究の流れを生かし、生徒の「書く力」をレベル3、レベル4へと引き上げるための具体的手立てについて研究し、実践を行う。さらに、レベル1からレベル4までを系統的に捉え、3年間(年間)の指導計画の作成にも着手したい。(部長 平井成二)